

北陸支部報

2026/8/7
第 26 号

【北陸支部講習会実施状況】



「UAV 取得データを用いた写真測量と地形図作成」
(R8年5月14日・15日)



「基準点測量B課程水準測量コース(実習あり)」
(R8年6月1日～5日)

目 次

令和8年度北陸支部業務報告会	2
令和8年度北陸支部役員名簿	4
令和8年公共測量品質管理優秀賞3社を表彰	5
令和8年度北陸支部空間情報技術事例発表会開催	6
令和8年度北陸支部事業計画	11
行事等の報告	13
令和7年度会員の増減状況	14



公益社団法人

日本測量協会

北陸支部



令和8年度 北陸支部業務報告会

北陸支部では、7月14日（火）に福井市の「福井県国際交流会館」において、令和8年度北陸支部業務報告会を開催しました。

北陸支部の業務報告会は、会員の皆様が直接参加しやすい環境を整備するために会員の皆様のより近い場所で開催することとしております。新潟県、富山県、石川県、福井県と順次開催をしており、今回は福井県での開催となりました。

大西支部長から挨拶の後、日本測量協会村上副会長からの挨拶では、6月23日に行われた日本測量協会定時総会報告として、令和7年度事業報告・予算、令和8年度事業計画としてイノベーション大会実施・オンデマンド配信開始、G空間E×PO、国際交流などのお話がありました。

この後、事務局から令和7年度支部業務報告の要旨、収支状況及び令和8年度の事業計画の要旨、予算について説明と報告を行いました。

また、令和8年度の役員については、各県の（一社）県測量設計業協会に役員改選等があったことから新しい役員が選出されたことを報告しました。

最後に、支部役員退任に伴う感謝状・記念品が贈呈されました。



【大西支部長による挨拶】



【村上副会長による挨拶】



《会場の様子》

令和8年度 北陸支部業務報告会

- | | | |
|-------------|------------|-------|
| 1. 支部長挨拶 | 北陸支部 支部長 | 大西 宏治 |
| 2. 本部挨拶 | 日本測量協会 副会長 | 村上 真幸 |
| 3. 北陸支部業務報告 | 北陸支部 事務局長 | 小嶋 幸男 |
| 4. 支部役員退職表彰 | | |

支部長挨拶（業務報告会）

大 西 宏 治

皆さま、こんにちは。北陸支部長の大西でございます。本日はお忙しい中、公益社団法人日本測量協会北陸支部業務報告会にご出席いただき、誠にありがとうございます。また、日頃より当支部の活動にご理解とご協力を賜っておりますことに対して、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

一 去年の能登半島地震、そして奥能登豪雨から時間が経過しましたが、今なお復旧・復興に向けた取り組みが続いております。被災地域においては、地形やインフラの状況を正確に把握し、将来を見据えた地域づくりを進める上で、測量・地理空間情報技術の果たす役割はますます重要になっています。私たちの仕事は社会基盤を支えていることを改めて実感しているところであります。

一方で、測量業界を取り巻く環境も大きく変化しています。UAV、レーザ計測、三次元点群データ、BIM/CIM、さらには AI 技術の活用など、技術革新のスピードは加速しています。これらの新しい技術を適切に活用しながら、品質の高い成果を提供し、地域社会の期待に応えていくことが私たちに求められています。

本日の業務報告会では、令和 7 年度の支部活動を振り返るとともに、今後の事業や活動方針についてご報告いたします。会員の皆さまのご意見をいただきながら、より魅力ある支部活動につなげてまいりたいと考えております。

本日が会員相互の交流と情報共有の有意義な機会となることを願いまして、開会の挨拶といたします。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

令和8年度 北陸支部役員名簿

支 部 長	大 西 宏 治	富山大学 人文学部 教授	
副支部長	奥 居 淳	(一社) 福井県測量設計業協会 (株) サンワコン	会長 代表取締役社長
〃	佐 治 力	(一社) 新潟県測量設計業協会 新潟県上越国土測量 (株)	会長 代表取締役社長
幹 事 長	市 森 友 明	(一社) 富山県測量設計業協会 N i X J A P A N (株)	会長 代表取締役社長
幹 事	荒 井 隆 二	(一社) 新潟県測量設計業協会 荒井測量設計 (株)	副会長 代表取締役社長
〃	大 塚 秀 一	(一社) 新潟県測量設計業協会 (株) アイテック	副会長 代表取締役社長
〃	岩 野 靖	(一社) 新潟県測量設計業協会 (株) 信和測量設計社	副会長 代表取締役社長
〃	寺 島 雅 峰	(一社) 富山県測量設計業協会 (株) 寺島コンサルタント	副会長 代表取締役社長
〃	今 川 健 治	(一社) 富山県測量設計業協会 (株) 上智	副会長 代表取締役社長
〃	磯 野 秀 和	(一社) 石川県測量設計業協会 (株) 北日本ジオグラフィ	会長 代表取締役社長
〃	黒 木 康 生	(一社) 石川県測量設計業協会 (株) 日本海コンサルタント	副会長 代表取締役社長
〃	原 一 貴	(一社) 石川県測量設計業協会 羽咋測量設計 (株)	専務理事 代表取締役社長
〃	栗 波 啓 治	(一社) 福井県測量設計業協会 中央測量設計 (株)	副会長 代表取締役社長
〃	中 島 正 夫	(一社) 福井県測量設計業協会 ジビル調査設計 (株)	専務理事 代表取締役社長

令和8年 公共測量品質管理優秀賞3社を表彰

○賞の概要

国や地方公共団体等が実施する公共測量は、「作業規程の準則（国土交通省告示）」により実施し、この中で「高精度を要する測量成果又は利用度の高い測量成果で計画機関が指定したものについては、検定に関する技術を有する第三者機関による検定を受けなければならない。」ことが規定されています。

当協会は、測量成果及び測量機器を検定する第三者機関として登録しており、平成17年4月に施行された「公共工事の品質確保の促進に関する法律」を機に、当協会が検定した測量成果の中から、優れた品質管理がなされている測量作業機関を「品質管理優秀賞」として毎年表彰し今年で22回目となります。

○令和8年度の受賞

当協会が前年度に測量成果の検定をした全国の測量作業機関の数は、基準点測量部門では1482社、地図作成部門では424社ありました。このうち、基準点測量部門から26社、地図作成部門から10社の合計36社が、今年度の受賞社として決定しました。

北陸支部管内からは、株式会社協和（富山県高岡市）様は初めての受賞、株式会社サンワコン（福井県福井市）様は8回目の受賞、羽咋測量設計株式会社（石川県羽咋市）様は初めての受賞となる3社が、基準点測量部門から受賞されました。

表彰は、7月14日の北陸支部業務報告会に引き続いて、公共測量品質管理優秀賞表彰式を行い、村上副会長から記念の盾と副賞が手渡されました。



【株式会社協和 様】



【株式会社サンワコン 様】



【羽咋測量設計株式会社 様】



【副会長・支部長と受賞者の皆様】

令和 8 年度 北陸支部空間情報技術事例発表会開催

令和 8 年度公益社団法人日本測量協会北陸支部空間情報技術事例発表会は、福井市の「福井県国際交流会館」において、業務報告会等に引き続いて会場聴講者等 43 名、オンライン参加 25 名の方が参加して開催されました。

冒頭、大西支部長から挨拶があり、その後 6 名の発表者から、自身が体験した測量作業等について発表していただきました。各自発表時間 15 分、質疑応答 5 分という制約の中で、発表のまとめ方や質問対策等大変苦労されたことと思います。

全ての発表が終了した後、審査員以外の皆様は懇談会場に移動して、審査結果が出るまでの間、和やかに歓談され、審査結果を今か今かと心待ちにしていました。

審査員の方々は、そのまま発表者 6 名の発表内容について審査・得点集計・意見交換に移り入賞者の選考を確認しました。

今回の審査は、これまでと同様に、①発表の着眼性、②まとめ具合、③発表資料の分かり易さ、④質疑応答に対する的確性、⑤時間の適正・話し方・態度の 5 項目による評価基準により行なわれました。

審査の終了後、審査員も懇談会の歓談に加わり、しばらくした後、大西支部長の開会の挨拶に始まり、国土地理院北陸地方測量部田中部長から来賓の挨拶、福井県での開催にご尽力いただいた福井県測量設計業協会奥居会長の挨拶がありました。

次に成績発表が行われ、最優秀発表賞に株式会社川上測量コンサルタントの小藤菜々さん、優秀発表賞に福井工業高等専門学校の河元愛来さんが選ばれ、両名に賞状と記念品が贈呈されました。

(※学生のお二方は懇談会を欠席)

続いて審査員をしていただいた福井工業高等専門学校の辻野教授から発表会の講評をいただきました。

最後は村上副会長の中締めで、この日予定されていた全ての行事を盛況裏に終了しました。

お忙しい中、発表にご協力いただきました測量会社の皆様、福井工業高等専門学校の学生お二方、審査のご協力をいただきました審査員の皆様、本当に有り難うございました。

来年は新潟県での開催を予定しておりますので、積極的な応募をお待ちしております。

空間情報技術事例発表会プログラム

◎挨拶

14:20

北陸支部支部長

大西 宏治

◎発表

14:35～14:55

①「三次元データを用いたデジタルツインの構築と活用」

株式会社 サンワコン

川嶋 菜桜

15:00～15:20

②「LiDAR SLAM を用いたハンディ型スキャナの活用検証」

株式会社 帝国コンサルタント

橋本 貴哉

15:25～15:45

③「現場におけるドローンの活用事例」

株式会社 キミコン

高橋 直希

15:55～16:15

④「ICT 活用工事（法面工）における出来形管理事例」

株式会社 川上測量コンサルタント

小藤 菜々

16:20～16:40

⑤「LiDAR SLAM を用いた建築物の三次元点群測量」

福井工業高等専門学校

野尻 唯奈

16:45～17:05

⑥「福井市における山腹崩壊危険度評価と災害履歴との比較」

福井工業高等専門学校

河元 愛来

◎審査員

- 審査員長 大西 宏治（日本測量協会 北陸支部長、富山大学 人文学部 教授）
- 審査員 田中 大和（国土地理院 北陸地方測量部長）
- 竹内 浩二（近畿地方整備局 福井河川国道事務所 工事品質管理官）
- 飛石 勝（福井県 土木部土木管理課 参事）
- 辻野 和彦（福井工業高等専門学校 環境都市工学科 教授）
- 村上 真幸（日本測量協会 副会長）

支部長挨拶（空間情報技術事例発表会）

大 西 宏 治

本日はお忙しい中、「令和8年度 日本測量協会北陸支部 空間情報技術事例発表会」にご出席いただき、誠にありがとうございます。北陸支部を代表し、心より御礼申し上げます。

本発表会は、測量・地理空間情報分野における最新の技術や実践事例を共有し、会員相互の知見を深める貴重な機会です。今年度は北陸支部の中から6件の発表がございます。空間情報技術の現場での活用というその実践知に触れることができるのは、私たちにとって大きな刺激であり、学びの場であります。デジタルツインやLiDAR SLAM、3次元点群データ、ICTの活用による管理業務などの発表があります。このような技術の知見を交換することも大切だと思います。

近年、地理空間情報は防災・減災、インフラ維持管理、都市計画、さらにはカーボンニュートラルの実現に向けた取り組みにおいても、ますます重要な役割を担っています。北陸地域においても、さまざまな課題に対応したまちづくりにおいて、空間情報が不可欠です。

そのような中で、私たち測量・空間情報技術者が果たすべき使命は大きく、そして多様化しています。本日の発表会が、皆さまの技術力と創造力をさらに高め、地域社会の持続的な発展に寄与する一助となることを願ってやみません。

最後になりますが、本発表会の開催にあたり、ご尽力いただいた関係各位、そして発表者の皆さまに深く感謝申し上げますとともに、本日ご参加の皆さまにとって実り多い一日となりますことを祈念し、開会のご挨拶とさせていただきます。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

空間情報技術事例発表会・懇談会写真集



挨拶する大西支部長



発表の様子



発表の様子(川嶋さん)



発表の様子(橋本さん)



発表の様子(高橋さん)



発表の様子(小藤さん)



発表の様子(野尻さん)



発表の様子(河元さん)



質問する審査員



懇談会挨拶(大西支部長)



懇談会挨拶(田中部長)



懇談会挨拶(奥居会長)



表彰を受ける小藤さん



発表者の皆さんと大西支部長



講評(辻野先生)



中締め(村上副会長)



歓談の様子



歓談の様子

令和 8 年度 北陸支部事業計画

1. 行事等実施計画

行 事 名 等	内 容	時 期	場 所
北陸地区測量機器集中検定	北陸地区における測量機器の集中検定（長岡会場）	4 月	長岡市
北陸支部役員会	年 2 回の定例会議	6 月、12 月	富山市
公共測量品質管理優秀賞表彰	測量成果の品質確保及び測量会社の技術力向上	7 月	福井市
北陸支部業務報告会	会員に対する北陸支部業務説明年 1 回の定例報告会	7 月	福井市
（公社）日本測量協会北陸支部空間情報技術事例発表会	空間情報技術者の育成と空間情報技術の一層の普及及び情報の共有化を図る発表会	7 月	福井市
公共測量講習会	測量計画機関（発注者）を対象とした講習会	1 1 月	金沢市

2. 支部主催講習会計画

講 習 会 名	開催予定日	会 場
測量数学・誤差学の基礎(Web 講習)	4 月 1 7 日	新潟市 (新潟ユニゾンプラザ)
U A V 取得データを用いた写真測量と地形図作成	5 月 1 4 日～1 5 日	金沢市 (石川県地場産業振興センター)
ネットワーク型 R T K 法による基準点測量	5 月 2 8 日	新潟市 (N O C プラザ)
U A V を用いた空中写真測量	7 月 1 6 日	新潟市 (新潟ユニゾンプラザ)
G N S S による基準点測量	8 月 3 日	富山市 (富山県教育文化会館)
3 D 地形点群モデル解析基礎技術	9 月 3 日	金沢市 (石川県地場産業振興センター)

実務者向けセミナー（ビデオ講習会）～現場で生きる三次元計測技術と活用事例～	9月10日	新潟市 （新潟ユニゾンプラザ）
測量・地理空間情報技術者のためのアドバンスセミナー	9月16日	金沢市 （石川県地場産業振興センター）
UAV取得データを用いた災害地の計測と調査	10月6日	富山市 （富山県教育文化会館）
三次元点群測量(Web講習)	11月5日	富山市 （富山県教育文化会館）
TSによる3・4級基準点測量	11月19日	福井市 （福井県国際交流会館）
実務者向けセミナー（ビデオ講習会）～進化する三次元計測と解析技術～	12月3日	富山市 （富山県教育文化会館）
電子基準点のみを既知点とする基準点測量及びGNSS標高測量	12月10日	金沢市 （石川県地場産業振興センター）
測量士答案練習セミナー(Web講習)	3月1日～5日	富山市 （測量会館）
測量士補答案練習セミナー(Web講習)	3月9日～12日	富山市 （測量会館）

参考：本部主催講習会

講習会名	開催予定日	会場
基準点測量B課程 水準測量コース(実習あり)	6月1日～6月5日	新潟市 （新潟ユニゾンプラザ）
基準点測量A課程 基準点測量コース(Web講習)	6月8日～6月14日	富山市 （測量会館）
防災調査課程Iコース（リアルタイム配信） （試験日7/31）	7月27日～7月31日	富山市 （測量会館）
基準点測量A課程 測地論コース(Web講習)	8月24日～8月29日	富山市 （測量会館）
防災調査課程IIコース（リアルタイム配信） （試験日11/12）	11月9日～11月12日	富山市 （測量会館）

3. 会員サービス

- ① 基準点測量成果謄抄本交付申請代行事務
- ② 正会員に対する測量CPD登録代行事務（無料）
- ③ 北陸支部報のウェブサイト刊行 年2回（8月及び1月）
- ④ メールマガジン「北陸支部通信」の配信 月1回

行事等の報告

○支部役員会

令和8年6月24日（水）のWEB開催による役員会において、令和7年度支部業務報告の要旨、収支状況及び令和8年度の事業計画の要旨、予算について、それぞれの内容を役員に説明し、意見を伺いました。

また、事務局から北陸支部業務報告会・公共測量品質管理優秀賞表彰の内

容及び空間情報技術事例発表会の流れについて説明を行いました。

令和8年度の北陸支部役員については、各県の（一社）県測量設計業協会に役員改選等があったことから、新しい役員が選出される旨の確認を行いました。

○「とやま地図作品研究会」総会を開催

第17回とやま地図作品研究会総会を4月28日（火）に測量会館で開催しました。

スケジュールは、6月初旬に県内小中学校に募集案内とチラシ等を配布、9月の1ヶ月間作品を募集し、10月に一次審査、本審査会を開催して入賞作品を決定します。11月21日～23日にファ

ボーレ（富山市）で入賞作品の展示会を開催し、表彰式は展示会の初日（21日）に同会場で行うことにしています。

最優秀作品を国土交通大臣賞・文部科学大臣賞候補作品に推せんし、その他優秀作品については、全国児童生徒地図優秀作品展に出展することになっています。

○「UAV取得データを用いた写真測量と地形図作成」講習会を開催

令和8年5月14日（木）、15日（金）に金沢市の「石川県地場産業振興センター」において、『UAV取得データを用いた写真測量と地形図作成』の講習会を開催しました。

近年、UAV（無人航空機）の登場に伴い、デジタルカメラを装着し、地上50～150mの高度から地上を撮影して測量する技術が急速に普及しました。国土地理院も『UAVを用いた公共測量マニュアル（案）』を作成し（2020年3月31日「作業規程の準則」に組み込まれました）、公共測量の新たな手法とし

て位置づけています。この流れに適応していくためには、これまで地上測量をメインで行っていた測量技術者にも、写真測量の知識や技術の習得が求められています。

この講習会では、UAVで取得したデータを用い、公共測量としての地形図作成に求められる三次元データがどのようなものであるかを理解し、データ処理手順と精度管理方法等について実習を通じて習得します。

講習会には10名の参加者があり、好評の講習会でした。

○「ネットワーク型RTK法による基準点測量」講習会を開催

令和8年5月28日（木）に新潟市の「NOCプラザ」において、GNSS測量技術を用いた『ネットワーク型RTK法による基準点測量』の講習会を開催しました。

本講習内容は、「令和7年3月31日に改正された公共測量作業規程の準則」等

に基づく作業計画から平均計算までの解説及び『主要な成果品の作成・とりまとめ』などについて解説します。なお、基準点測量では特に重要な『平均計画図・平均図・観測図』の作成演習も実施いたします。講習会には22名の参加者があり、好評の講習会でした。

○「GNSSによる基準点測量」講習会を開催

令和8年8月3日(月)に富山市の「富山県教育文化会館」において、『GNSSによる基準点測量』の講習会を開催しました。

GNSSによる基準点測量の観測方法は、『標準的なスタティック法・電子基準点のみを既知点とするスタティック法』及び今後利用の拡大が期待される『ネットワーク型RTK法』など多くの観測方法があります。また、測位衛星もGPS衛星だけではなく他の測位衛星の利用も可能になったことから、適用範

囲の拡大、観測作業の効率化・高精度化などが期待されています。

本講習会は、GNSSによる基準点測量で使われている全ての観測方法に加え、地理情報標準による『品質評価表・メタデータの作成』など、全ての作業工程について解説いたします。なお、GNSSによる基準点測量で特に重要な『平均計画図・平均図・観測図』等の作成演習も実施いたします。

講習会には13名の参加者があり、好評の講習会でした。

令和7年度 会員の増減状況

会員種別	R7. 3. 31	R8. 3. 31 現在	増減	新潟県	富山県	石川県	福井県
正 会 員	5 3 1	5 1 7	- 1 4	2 2 0 (- 1 2)	1 0 3 (+ 2)	1 4 1 (- 1)	5 3 (- 3)
準 会 員	0	0	± 0	0 (± 0)	0 (± 0)	0 (± 0)	0 (± 0)
特別会員	1 6 9	1 7 1	+ 2	7 9 (- 1)	3 9 (+ 2)	3 3 (+ 1)	2 0 (± 0)
計	7 0 0	6 8 8	- 1 2	2 9 9 (- 1 3)	1 4 2 (+ 4)	1 7 4 (± 0)	7 3 (- 3)

測量CPD及び測量技術者継続教育証明制度(SUCCESS)

の登録、更新を行いましょう。

日本測量協会の会員（正会員、準会員、特別会員）は、13,600人を超えています。

また、測量CPDの学習履歴登録件数は、年間20,000件を越える状況となっています。

北陸支部における正会員は、若干減少傾向にはありますが令和8年7月末で527名に達しています。



☒ ☺☺☺☺☺ ☒ ☺☺☺☺☺ ☒ ☺☺☺☺☺ ☒ ☺☺☺☺☺ ☒

編集・発行

公益社団法人 日本測量協会 北陸支部

〒939-8094 富山市大泉本町 1-12-14 (測量会館内)

○ 事務局 ・ TEL 076 (422) 3305 ・ FAX 076 (422) 3403

E-mail hokuriku@jsurvey.jp

○ 技術センター ・ TEL 076 (421) 5445 ・ FAX 076 (422) 3403

E-mail hokuriku-geo@jsurvey.jp

☒ ☺☺☺☺☺ ☒ ☺☺☺☺☺ ☒ ☺☺☺☺☺ ☒ ☺☺☺☺ ☒